

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社フジコー		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 804-0011 福岡県北九州市戸畑区中原西2丁目18-12	
本票作成	部署名：株式会社フジコー 山陽工場 総務室				
主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業		
事業の概要	①複合金属製品（ロール製品）の製造・販売・補修・補修 ②複合金属製品（原料工程向製品）の製造・販売・補修 ③環境プラント製品の製造・販売・補修 ④操業関連作業 ⑤産業機械等の設計・製作・据付 ⑥光触媒製品の製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	山陽工場		岡山県浅口市鴨方町鳩ヶ丘1丁目1298番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度（令和 5 年度）			目標年度（令和 8 年度）					
	4,176 t CO ₂			3,639 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度（令和 5 年度）の排出量					
	①	山陽工場		4,176 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 CPC母材重量+溶解重量(t)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		1.299 t CO ₂ / (t)	1.260 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値（令和 5 年度）	達成率(%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・現在実施しているCPCの2交代生産を継続していく。7月～9月においては、夏場の暑熱対策の為、1交代世サインになる為、それ以外の月においてはできる限りの2交代（2週～3週）の実施を計画する。昼夜継続して溶解炉を使用することで溶解炉を冷ますことなく生産ができるという効果が見込まれる。
 ・従来の設備の老朽化に伴う更新を行う場合は、省エネを考慮した設備の導入を実施する。

【目標削減率達成のための推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者（本社）を中心とし、事業所におけるエネルギー管理者をリーダーとして管理体制を整備。 ・エネルギー管理者を中心とした省エネ推進会議を定期的に行い、効率的な設備活動を実施、検証及び省エネ立案、検討を行う。 ・省エネセンターを活用した省エネ診断や、民間の省エネ指導等も活用。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
山陽工場	<ul style="list-style-type: none"> ・CPCの2交代生産の積極的導入と継続 ・省エネポンプへの更新 ・省エネタイプのクーリングタワーへの更新

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
山陽工場	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネの意識した生産計画の立案と実行 ・省エネの設備への更新 ・省エネ活動の従業員への意識づけ ・省エネ診断を含めたコンサルの活用 ・省エネ研修等外部教育への積極的参加

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--